京城日報
朝刊
編輯兼發行人 印刷人 小川三之介
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社京城日報社

本府明年度豫算は大體見透しつく
繰入金は千六百萬圓程度

【東京支社發】本府明年度豫算は去る廿三日大藏省の査定があり、これに對し大野政務總監、水田財務局長は非常時豫算の内容を整備すべく削減されたものに對し猛烈な復活要求をなし、連日に亘り深更まで大藏省と折衝を重ねてゐたが、繰入金を初め鐵道その他重要案件が盛られてゐるので容易に決せず、廿九日に至つて一部を除き大體の見透しはついた模様である　就ては初め大藏省から本年度の四倍近くの要求があつたが、總督府の努力によつて一千六百萬圓程度に喰ひ止めた模様である、なほ總督府が明年度に企圖してゐる南鮮綿作を初め初等教育、中等學校の擴充、專門學校の充實を圖る教育刷新、貿易の振興、工業の振起、航空施設の擴充、牛馬棉花の增産、木材資源の涵養並に產金道路の開設、配電網の擴充、技術者の養成等の所謂大々的産金計畫等本府の主張は大略容認された、また繰入金による關係上難關らしく、土木港灣計畫等も鐵道と關聯して未だ最後の決定を見るまでに至らず、目下折衝中で一兩日を要する模様である

高文試驗制度並に任用令等を改正
法制局で目下立案中

【東京支社發】法制局では目下文官任用令、高文試驗制度、分限令試補制度、官等俸給令、官公吏の資格等につき全面的な再檢討のもとにその官制改正案を立案中であるが、同案は新日本に適應した人材の登用を骨子とし、同時に庶政刷新の實を擧げんとするもので、就中高文試驗制度並に任用令の改正には極めて注目すべきものがある、即ち官吏は從來法科萬能の嫌ひが多分にあり、今日の如く官吏の職能が經濟的、生活的に國民と多角的關係に置かれるに於ては單に法的知識を以てしては民間側との協力に極めて不便を感ずるので、從來の法的萬能のもとに行はれた官吏登用の概念を根本的に排除し、實力と人格を兼備した各分野の人材を以て眞に國民の指導性を有するブレン・メン陣を構成せんとするもので、從つて高文試驗科目の如きも法律第一主義から國際國内の金融、植民政策、財政經濟諸般に亘るものとし、更に國體觀念の明徴を期する上に於て國史をも必須科目（從來は選擇科目）に加へるべく論議されて居り、一方民間から適當のエキスパートを迎へ入れんがためそれに關する關係法規の改正を行はんとするもので、これが實現の曉は多角的人材を網羅して、一層官界を明朗化するものと期待されてゐる

國民政府の新政治形體
明春早々内容を發表

【上海廿日同盟】支那大本營の組織は南京陷落により一時その機能を喪失してゐたが、その後漸々再生の整備を急ぎ長沙を據點に入る國民政府の新政府形態を精成し、明春早々これが組織内容を中外に發表するものと觀測される、漢口來電によれば右改組は交通部及び鐵道部を運輸部に、實業部及び全國經濟建設委員會を合體して經濟部とするなど、相互關係を有する各機關を合併單一化するに決定したものと見られる

米は明年度に海軍大擴張

【ワシントン廿九日同盟】アメリカ下院海軍豫算分科委員長エドワード・テイラー氏は、二十八日來年度海軍豫算案に對するルーズヴェルト大統領の書簡を公表した、同書簡は現下の國際情勢に鑑みアメリカが來年度において海軍大擴張を斷行する意向を披瀝したもので要旨次の通り

最近の世界の動きは益々世界平和に對する余の懸念を深めさせるばかりである、懸念を深めると言つても余は特定の國家乃至アメリカに對する特定の脅威を指すものではないが、世界各國として多數國家が軍備計畫を繼續してゐるばかりでなく、更に軍備を擴張してゐることはまぎれのない事實である、余は軍備擴張の潮流を阻止し軍備の縮小を實現する爲めあらゆる努力を拂つたが、しかし現實は如何ともなす能はずアメリカもこの現實を承認するの巳むなきに至つた、アメリカ政府は一九三八—一九三九年度において主力艦二隻、輕巡洋艦二隻、驅逐艦八隻、潜水艦六隻を建造する意向の下に既に之に關する豫算案を豫算局長から下院の海軍豫算分科委員會に提出した、しかしながら余は以上の情勢から見て右建艦計畫委員會に、更に軍艦建造に關する追加豫算案を議會に提出するかも知れない

哨戒爆撃機の編隊輸送線上

【サンディエゴ廿九日同盟】米國の軍備計畫の一環として海軍當局はハワイ眞珠灣軍港を海軍第一線根據地たらしむべく頻りにその防備を急いでゐるが、右に關聯して明年二月實施豫定の哨戒爆撃機十二機の編隊輸送飛行は豫定を繰上げ一月中旬を期して行ふこととなり、參加飛行機も十二機から十八機に增加されることになる模様である

津浦・漢緑を爆撃

【上海三十日同盟】陸軍航空隊は二十九日津浦、隴海兩鐵路沿線に飛び、津浦沿線においては徐州その他各驛の敵部隊集團及び貨車群を爆撃、又隴海沿線においては鄭州江口驛附近の鐵路、運用貨車貨荷などに互彈を浴せた

社説
歳晩の辭

戰爭と榮光の中に昭和十二年は暮れて行く。世界は—人類は—正義の何ものであるかを、昭和十二年に於て認識し得たであらう。否、未だこれを認識せざる者も、今後十年、二十年、乃至は百年の後に於て、昭和十二年は、正に世界正義、確認のために存在した年であつたことを認識するであらう。日本は明治維新以來、國際舞臺に活動し始めてから、一貫世界の平和と人類の幸福のために、正義一貫の行動を續けて來た。しかして、特に世界平和の東の半面である東洋平和のために、堪ふべからざるを堪へ、忍ぶべからざるを忍び、常に和平の中にすべてを處理すべく努力して來た。それにも拘らず、支那は日本の存念を理解するところなく、反つて抗日侮日の行動を反復し、歐米に依存して、自ら反つて東洋の平和を攪亂し來つた國民政府の心事たるや、實に支那をも、東洋をも、何等顧慮せざる自家政權保持の我利々々根性の現はれに外ならなかつた。

×

顧みれば、日清戰爭も、日露戰爭も、みなこれ東洋平和のために、大なる犠牲を拂つて戰つた正義の戰であつた。支那は近代日本の國際行動に對して、認識し、反省し、正視するに於て、日本が支那に對して何を望み何を期待しつゝあるかを、はつきりと知ることが出來たはずである。日本はたゞ〳〵同じ東洋に存立し、數千年の友交關係を保持し、同文同種を以て重なる支那との親善提携によつて、東洋の平和を確立するのみならず、東西の文明を攝取消化して、新らしく人類文化を以て人類の平和と福祉に貢獻せんとのみを念願として今日に及んだ。然るに國民政府は内に四億の支那同胞を欺瞞し、外に日本を排外して自家權力の支持のために狂奔し、東洋平和のことも、人類の幸福のことも顧慮するところなく、禍根を醸成し、終に支那事變を誘致するに至つた。事變はすべて國民政府の不明と欺瞞と暴戻とに胚胎したものである。

×

日本は終に蹶起した。最早や國民政府に期待すべき何ものもなきを觀破し、國民政府の存立は啻に支那四億の民を驅つて不幸のどん底に追ひ込むばかりでなく、東洋平和を攪亂し、更に世界の平和の基礎をも危くするものであることを確認した。殊に支那の背後に作用する英蘇の魔手の殲滅を要するものもあるを知るに及んで、斷然として正義のために暴戻支那を膺懲するのみならず、禍根一掃のために蹶起した。此の覺悟と決心とは不動のものである。而して聖戰の進展するところ無人の境を行くが如く、勝利又勝利、皇軍の威武全支を壓せるばかりでなく、皇威の榮光燦として東天に輝きわたり、皇國日本は今や全世界に洋々たる希望の光を投げかけてゐる。我等はこの戰爭と榮光とを祝福すると同時に、皇國蹶起の大精神を堅持して、次に來るべき大建設作業を大なる難關突破の覺悟を頭が上にも嚴くせねばならぬ。我等は以て昭和十二年を送り、歡呼以て新年を迎へよう。

喪中に付年賀の御挨拶缺禮仕候　昭和十二年十二月　永登浦驛前　山本作男

喪中に付年賀の御挨拶缺禮仕候　昭和十二年十二月　永登浦驛前　中川幸一

喪中ニ付キ年末年始ノ御挨拶御遠慮申上候　尹錫弼

喪中に付き年賀缺禮仕り候　伊達四雄

喪中ニ付缺禮　水原物産商會　青木一夫

喪中ニ付缺禮　貨物自動車運送業　青木商會

喪中缺禮　李斗用

喪中缺禮　李稷榮

歲末宮中の御儀

節折の御儀と除夜祭

事變下長くも　天皇陛下には萬機御多端にて寢食を安んじ給ふ御暇さへあらせられなかつたが、軍國非常の昭和十二年も今日宮中大奧に行はせ給ふ除夜祭の裡に靜かに暮れて明くれば希望に輝く昭和十三年の元旦である、思ひ出多き

歲末の卅一日宮中では午後二時から鳳凰間に於いて節折の御儀を嚴かに行はせられる、陛下には純白の御直衣を召させられて出御、三條掌典以下奉仕して　三陛下の荒世、和世の御贖物を供し奉り竹にて玉體を量り參らせる御儀は古式に則りいとも莊重に行はせられ

終つて午後三時より賢所御庭に於いて御總代の皇族方を始め各官廳總代等參列、醍醐掌典次長以下奉仕し大祓の儀が行はれるが　三陛下の御贖物は掌典捧持して濱離宮より海々御流し申上げる

本年最後の御儀除夜祭は午後三時半より賢所、皇靈殿、神殿に於いて行はれ、三條掌典長以下奉仕、莊重なる神樂歌のうちに御開扉、神饌を供し掌典長恭しく祝詞を奏し奉り御儀は夕闇の頃御終了になる

日蘇間漁業條約

更に一ケ年間延長

モスクワで正式調印

【東京電話】懸案の日蘇間漁業條約暫行協定再延長の議定書は三十日午後二時半モスクワにおいて重光大使とストモニヤコフ外務人民委員次長との間に正式調印を見たので、外務省は同日午後十時左の如く發表した

外務省發表

＝日本國ソヴエート社會主義共和國聯邦間漁業條約の第三回效力延長に關する議定書

一九二八年一月二十三日署名せられ一九三六年五月二十五日及同年十二月二十八日それぞれ署名せられたる議定書により效力延長せられたる日本國ソヴエート社會主義共和國聯邦間漁業條約の存續期間は、一九三七年十二月三十一日滿了するにより又一九三七年十二月三十一日前に新條約締結せられざるべきにより、大日本帝國及びソヴエート社會主義共和國聯邦の政府は一九二八年一月二十三日署名せられたる日本國ソヴエート社會主義共和國聯邦間漁業條約及附屬文書が、一九三八年十二月三十一日に至るまで效力を存續すべきことを茲に協定す

右證據として下名は各本國政府より正當の委任を受け本議定書に署名せり

昭和十二年十二月二十九日
即ち一九三七年十二月二十九日

モスクワにおいて本書二通を作成す

重光　葵
ベ・ストモニヤコフ

ことに取計らひ、かくて二十九日モスクワにおいて議定書の調印を見たのである（以下判読困難）

當業者の態度依然强硬

【東京電話】日蘇漁業條約、暫定協定再締結に關し當業者側の意向（…ケ所）の期限滿了を見越して、故意に漁業條約並に廣田・カラハン漁業安定取極めの解決を遷延せしめ明年を期して我が方の露領漁業を全面的に最後の土壇場に追ひ込まんとするもの、如く推測されるので、斯の如き事態に備へて我が漁業權擁護のため、露領水產組合は明春十日丸ビル事務所に緊急評議員會を開き、今後の根本對策を協議し場合によつては民間當業者代表を露都に派遣、官民協力を以て方針の貫徹を圖ること、なる模樣である、なほ北洋漁業會、大日本漁業協會、大日本產業協會などの關係者は、明春早々代表を上京せしめ露水組合と連絡の下に正式調印促進運動を展開するはずである、今後一層民間側の權益確保運動は熾烈となるべく成行は注目されてゐる

並に今後の對策を綜合するに、大體左の如くかゝる暫定協定締結の如き一時的糊塗手段による解決方法に滿足せず、飽くまで我が北洋漁業權益確保のため新協定の調印達成に邁進すべしと强硬決意を示してゐる、即ち日蘇漁業條約改訂交渉は我が方の公正なる態度にも拘らず蘇聯側の不信行爲によつて遂に現行暫定協定期間内に新協定の成立を不可能ならしめたため、再び暫定協定を締結するのやむなきに立ち到つたが、當業者としては之を機會に先づその主張通り正式促進運動を以つて蘇聯側に迫る必要があるといふのであるが、抑々蘇聯側の意圖は明年を以つて更に特別契約漁區（期限十二年）繼續工場經營漁區邦人租借漁區四十四

で我方は從來幾回となく强く蘇政府の注意を喚起したところ、先方は依然遷延的態度をとり結局本年も亦年内に新協定締結の望みなきに至り、交渉は更に來春に持越さざるを得ざることとなつたことは甚だ遺憾とするところである、よつて我が交付せる取あへず來年度の我が漁業經營に支障なからしむるため、昨年末と同樣の暫定取極めを結ぶこととし現行漁業條約及び附屬文書の效力を引續き來年一杯延長すると共に、所謂安定漁區凡そ二百八十ケ所の契約も同樣延長し

從來 通りの條件で來年度も我が當業者が漁業に從事する

かね て帝國政府と伊國政

外務當局談

【東京電話】日蘇條約の暫行協定の延長に關し、外務當局では三十日左の如き當局談を發表した

▲漁業暫定取極め締結に關する外務當局談

日蘇 漁業條約の修正交渉については昨年十一月案文改訂を見、我方は國内手續を了したるにも拘らずソヴエート政府が間際になつて調印を肯じなかつたゝめ已むを得ず條約の效力を本年一ケ年延長…

同樣取計らふこととし暫定取極め並に新協定調印方の交渉を本年に持越すこととなつた經緯は周知の通りである、我政府は本年春以來機會あるごとに蘇政府の反省を促し速に昨秋同意に達したところにより新暫定の締結を實現し、長期に亘る漁業に關する紛議を一掃せんことを迫つたのであるが、蘇政府當局は一向話合の再開に應ずるの氣配を示さず

遂に 本年初秋に及んだの

英艦事件に關する

我回答文を手交

【東京電話】レデイバード號事件に關する帝國政府の正式回答公文は、二十八日廣田外相よりクレーギー駐日英大使に手交したが、外務省は三十日午後十時右事件に關し左の如く發表した

外務省發表

昭和十二年十二月二十八日廣田外務大臣は在本邦クレーギーイギリス大使の來訪を求め、レデイバード號その他イギリス艦船攻擊事件に關する左記要旨の回答文を手交せり

本月十二日蕪湖及南京方面において帝國軍が誤つて貴國軍艦及商船を砲擊せる事件に關しては

本月 十四日附措辭を以て

一、前記本月十四日附措辭を受領したるはイギリス政府の欣幸とするところなる旨

二、イギリス政府は右措辭中通告の趣旨がイギリス商船に對する攻擊に當つても同樣適用せらるべしとの保障を求むる旨

三、イギリス政府においては責任者充分適當に處置するべしとの點を特に重視する旨、並にイギリス政府は二の種事件の再發を…

帝國政府の深厚なる陳謝を表明すると共に、同種事件再發防止のため直ちに必要なる措置をとりたる旨、及責任者に對し適當なる處置をとるべく又必要なる賠償を行ふべき旨申進めたるに對し、閣下より本月十六日附書翰を以て本事件の事情を展述せられたる後

趣き を御申越相成りたるを以て、取あへず本月十七日附措辭を以て前記十四日附措辭中進めの次第は同樣情況の下に攻擊せられたる貴國商船にも適用せらるべきこと勿論の次第なる旨回答せり

本事件發生するや帝國政府は直ちに眞相糺明に努力したるも、その後作戰の推移に伴ひ關係部隊分散し、通信連絡意の如くならざりしなどの事情により調査遲延せしは甚だ遺憾とするところに有之、今般漸く全般的調査報告の接到を見たるところ、其要領は我が陸海軍當局より貴方に對して陳上したる説明の通りなり

實に防止するが如き措置が現實にとられたることにつき報告を得たき旨の

右に て御承知の通り今次の事件はいづれも關係部隊は當時の情況上、外國艦船は戰場及附近より避難してをり該方面に存在せし船舶はすべて敵性を有するもの以外有り得べからざるものと信じ居ると、又時恰も濛霧又は硝煙のため視認情況良好ならざりし事情などに基因して發生したるものにして、決して故意に貴國艦船と知りつつ攻擊せしものに非ざりしは疑の餘地無之右は各個の海軍爆擊部隊及陸軍部隊が貴國艦船たるを知るや、直ちに攻擊を中止したる事實

陸軍部隊がレデイバード號死傷者の處置に對し援助を與へたる事實などによつても諒解せらるるところと信ずる

尚又 レデイバード號

の砲擊に關連し關係陸軍部隊長が揚子江上における一切の船舶に對して射擊すべしとの命令を受けをれりとの貴方の主張は、帝國政府において特に重大關心を以て糺明に努めたるところなるが、右は敵の軍用に供しをる一切の船舶の意味にして決して第三國艦船をも射擊すべしとの命令にあらざりしこと判明せり

本事件に關する帝國政府の陳謝並に損害賠償については既に前記措辭中に表明したるところを以て盡すべきところ、本事件責任者の處置に關しては前述の通り本事件は全く錯誤に出でたるものなること判明せりと雖も

充分 の注意を拂ふ點において欠くるところありたるの理由により、關係…

要なる處置を行ひこの種過誤の絕無を期したる次第なり、次に十六日附貴翰末尾今後の保障に關しては帝國陸海軍においては本事件後直ちにイギリスその他第三國艦船の存在する地域においては、最大の注意を以て今回の如き過誤を繰返さゞるやう努むべき旨嚴命した外、從來屢々出先陸海軍並に外務關係者に對し嚴命済みなるも、更に今回の不祥事件に鑑みイギリスその他第三國人の生命財產に對し射擊を加へざるやう一層周到なる注意を加ふべき旨重ねて嚴命を發せる次第なり

而し てこれらの目的の達成を一層有效ならしむべき一切の手段に關しても愼重なる考究を重ね、これが實行を期しをる次第にして、即ち貴國居留民及權益の處置などについては更に貴方とも充分連絡調査の上、適宜これを出先に通報し下級部隊に至るまで徹底せしめんことを期し、その通信方法についても特に愼重を期するやう考慮を加へたる次第なり、以上述べたる如く帝國政府においては速に適當なる處置をとりたることは全く帝國政府がイギリス並にその他第三國の權益を保障せんとする誠意に出でたるものなることは閣下において篤と御諒承相成るべきことを確信するものなり

日伊通商協定

正式調印

【東京電話】日伊兩國間の通商條約追加協定は堀田駐伊大使とチアノ外相との間に三十日午後二時半ローマにおいて正式調印を見たので、外務省では同日午後十時左の當局談を發表した

▲日伊通商條約追加協定締結に關する外務當局談

今般日伊通商條約追加協定締結を見たるに至つたのであるが、從來現行の日伊通商條約（大正二年六月十二日公布）はイタリー側では本國にのみ適用しをり、そのため植民地たるリビア・エレトリア及び伊領ソマリーランド屬地たる伊領多島海等の島嶼と千島は無條約關係であつたのに鑑み、當時伊國政府は帝國政府に對しエチオピアにおける通商など

府との間に交渉中の日伊通商條約追加協定は最近妥結を見るに至り十二月卅日ローマにおいて帝國全權委員たる駐伊堀田大使と伊國全權委員との間に調印を了した本協定は昭和十一年十二月帝國政府がエチオピアにおける帝國公使館を廢しその代りにアヂスアベバに領事館を設置し、伊國政府は欣然これを應諾し、爾來彩村前駐伊大使及堀田現駐伊大使は伊國外務當局との間にローマにおいて折衝を續け來り、今般圓滿妥結を見たものである

帝國 政府は帝國がエチオピア帝國との修好通商條約により有した諸權益を確保する目的を以て伊國政府に對し通商取極めの締結を提議したところ、伊國政府は之に對し特に好意ある考慮を加ふる旨言明したので

然る に今回前記エチオピアにおける通商取極め締結の交渉中日伊通商條約の適用を獨りエチオピアにのみ擴張するよりも、エチオピアを含む伊領植民地及屬地の全部に擴張しようといふことに話が纏つたものである、ところで日伊條約中には恰も伊領植民地に適用をなす規定があるので條約文に適當なる變更を加へた次第である何等實質上外に重要なのは現行日伊通商條約は一ケ月の豫告で何時でも廢棄し得る狀況にあるので、本協定と共にその豫告期間を三年に延長して適宜廢棄出來るやうにすると共に

爾後 一ケ年毎延長し得ることとした點と、帝國が滿洲に與へることあるべき關稅上の特惠と最惠國待遇の除外例として新にイタリーを認めた點である、右の對滿特惠は日滿一體の見地から言つて特に重要な點である、エチオピアはエトリア、伊領ソマリーランドの三領民地と併せヤイタリーではイタリー・アフリカと公稱してゐるが、エチオピアについてはイタリーと通商約を締結したのはさきにドイツがあり、今我が帝國があるのみである、日伊兩國は政治方面においてはさきに日獨伊防共協定の成立により緊密な關係に立つやうになり

今ま た通商方面において新協定の成立を見るに至つたとは誠に慶賀に堪へない次第である

青島在留米人

續々引揚開始

【ニューヨーク二十八日同盟】青島の形勢は日一日險惡化しつゝある際、青島發A・P電報によればアメリカ驅逐艦サクラメント號は廿八日青島在留のアメリカ人四十五名を乘せて上海に向つた、現在なほ踏み留まつてゐる外國人も情勢逼迫の折柄いよ〳〵引揚計畫中である、今なほ時々青島に寄港する沿岸航路の小型汽船も安全地帶に避難準備を進めてゐるが、アメリカ政府の訓令に基く青島領事の勸告に從つて、いよ〳〵青島を引揚げることゝなつた

大崑崙を攻略

博山に肉薄

【京城三十日同盟】膠濟線の要衝周村及び淄川を占領した石田部隊は三十日早朝來博山に向つて進擊を開始し、その一部部隊は直ちに大崑崙を攻略して午前中早くも博山に肉薄した

石塚顧問官より

廣田外相に質問

【東京電話】日蘇漁業條約の效力延長に關する議定書署名の件は廿九日樞府本會議に於いて可決されたが、同樞府本會議席上、石塚顧問官より

ソヴエートに於ては漁業は之を國營となす方針と聞くが、之は將來我國の條約上に認められた漁業權をも侵害する虞れはないか、又漁業條約の改訂は條約上ソヴエートの當然の義務である政府に於いては我が方の態度について十分遺憾なきを期せられ度い

旨を要望した、之に對し廣田外相より

ソヴエートの漁業國營は國内のみの問題であつて我が條約上の權益を侵害する虞れはない、又改訂條約の締結についても政府としては十分努力する

旨答へた

漁業協定成立の見込みがないので已むを得ずとつた措置であつて、我政府としては引續き新協定締結を速に實現すべく努力することは勿論である

本府明年度豫算

きのふ決定す

【東京支社特電】本府の明年度豫算は繰入金を初め私鐵買收その他一、二が大藏省側との間に意見の一致を見ず決定に至らなかつたが、廿九日徹宵折衝を重ねたる結果、卅日漸く決定、來年の初閣議にかけ正式決定されることとなつた、問題の繰入金は千七百五十萬圓で折合ひ、黃海線鐵道の買收はこれを見合せ京城平壤間の複線計畫は最短距離を選び新設し、京城釜山間の所謂中央線建設計畫を二年繰上げ十五年度に完成し輸送の圓滑を期することゝなつた、また來年度の新規事業として多獅島の築港計畫千三百萬圓、淸津港の繰上げ三十五萬圓、大同江の改修工事、大學に理工學部新設、高等工業に電氣機械科の設置、初等教育の擴充計畫廿一年度完成を十年度に繰上げる他、中等學校の學級增加をなすと共に一、二校を新設等の教育刷新を初め、產金增產等の千餘萬圓など殆ど主部の主張が容認されたわけで、非常なる成功といはれてゐる、右につき水田財務局長は語る

今年は例年よりスタートが一月餘も遲れて居り、大藏省の主任もこちらの司計課長も共に新任だつたが皆がよく勉强してくれ政務總監がよく指導され、殊に繰入金の問題に就ては一通りならぬ御盡力をしていたゞいた結果、適當なところで落付き、新規事業も總督が施政方針としてあられる諸般の事項を初め、かなりの難關だつたものも認めさせたことは先づ成功といふべきだらう、これから徹夜で計數の整理をなし、春早々の閣議で正式に決定されるわけだ

明年度豫算總額

五億五百餘萬圓

【東京支社特電】本府明年度豫算總額は五億五百十九萬四千圓で、本年度の四億二千二百八十三萬七千圓に比較する時は八千二百三十五萬六千圓の增額となつたわけである

●陸軍大將松井石根閣下夫人　松井文子
●教育家・東京女子高師教授　吉岡彌生
●婦人矯風會　大阪支部長　林歌子

三婦人を始め名流婦人揃つて大讃賞の婦人俱樂部新年號は大附錄つき、離誌界第一の評判で大賣行です。

父西岡儀帝大病院入院加療中ノ處療養不相叶本日午後九時三十分死去仕候間此段御通知申上候

追而…告別式執行仕候

昭和十二年十二月廿九日

妻　西岡イツ
四女　富士江

妻（つま）

小島政二郎作　宮田重雄繪　【157】

生活者か妻か（三）

今夜だ。

鈴子から相談を受けた時、さうするより外に生きて行く道のないことを知つてゐる婆やは、

「奥さまがいゝと思召したら、さうなさいましよ。わたくしは、どうにでもして、お留守はお預り申しますわ。でも、櫻井さんと仰しやる方は、信用しても大丈夫な方なんでございませうね？」

さう云つて、恐々顏色を窺はした。

「あなたにまで、迷惑を掛けて私濟まないと思ふわ。」

「なあにあなた。それよりわたくしは、奥さまが、さう申しちや何でございますけれど、いぢらしくつて――」

「有難う。私、あなたの御恩は一生忘れないことよ。」

「何仰しやいます。唯くどいやうですけれど、櫻井さんツて方は、大丈夫な方なんでございませうね？」

「ええ、私、大丈夫な方だと思ふわ。」

「そんなら宜しうございますけれど――。わたくしは、奥さまがあんまりお美しくつて入らつしやるので、正直、それが心配でなりませんですよ。」

「まあ、厭な婆や――」

「いゝえ、本當でございますよ。旦那さまが、燒き餅をお燒きになるのも、みんなそのせゐでございますもの。」

「大丈夫よ。その點、私を信用して安心して頂戴。」

「えゝ〳〵。奥さまはわたくし御信用申し上げてをりますからこそ今度のことも、お味方申し上げるんでございますわ。」

主從の間に、そんな會話があつたのが今夜だつた。九時三十分。あと、奥さまがお乘りになつた汽車が、今京城驛を發車したところだ。

「……」

婆やは御無事に、萬事首尾よく行きますやうにと祈つた。

そこへ、

「今晩は――」

約束通り、磯子が電氣治療の器具を下げて、這入つて來た。

「おや、入らつしやいまし。お待ち申してをりましたわ。」

婆やは、磯子を病室へ連れて行く前に鈴子の家出のことを手短かに話して聞かせた。

「あら――。本當？」

磯子は大きな目を見張つたきり二の句が繼げなかつた。彼女は胸を大きく喘がせてゐた。

婆やは、鈴子に云はれた通り、磯子に治療が濟んでも歸らずに、味方をしてくれるやうに頼んだ。

「えゝ、いゝわ。」

それだけの打ち合はせを濟ませてから、婆やは磯子の器械を持つて、病室へ案内して行つた。

土居は素直に治療を受けてくれた。磯子が下へ降りて暫く立つと、病室からベルが鳴つて、婆やが呼び上げられた。

「鈴子はまだ歸らないか。」

何か不安な眼差をぢつと婆やの顏に注ぎながら、土居が聞いた。覺悟はしてゐたものゝ、婆やはギクッとした。

RADIO

三十一日（金）

第一放送

午前六時五五分　ニュース
同七時二〇分（東）朝の修養　古道大觀（終）　文學博士　河野省三
同七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同一〇時三〇分（城）家庭講座　お正月臺所の洗物について　田中ちた子
正午（東）時報
午後零時五分（城）管絃四重奏　朝鮮ホテル音樂部
一、長唄「越後獅子」
二、長唄「汐汲」
三、端唄「梅にも春」
四、三十三間堂
同零時三三分（東）國民歌謠　〃愛國行進曲〃
同零時三〇分　ニュース
同四時　ニュース（氣象通報・釜山・淸津）
同六時　アナウンサーのオンガクカイ「？？？」（京城）
司會　河野子供係　伴奏　DKオーケストラ
出演アナウンサー（イロハ順）　德田貫　金谷良信　能勢守　松村正　安藤直之　森誠　鈴木琢介　岩尾光義　田邊二郎　金大得
ミナト・コドモクラブ　伴奏　律島秀雄
同六時　寶來玉手箱（釜山）
同六時　アナウンサー忘年音樂會（平壤）　司會　稻葉悟郎
一、少年愛國歌　趙鶴相
二、マンドリンと童歌　田在昕
三、獨唱　李石薰
四、ヴァイオリン獨奏　川井澄
五、三重奏　アナウンサー・トリオ
六、合唱　螢の光　全員
同六時　放送局のおぢさんの？（淸津）　西山力　佐藤設　李隨亭・他
同六時二五分（東）趣味講座　夜の惡魔拂ひ　佐々木彦太郎
同六時五五分　カレントトピックス
同七時　ニュース・天氣見込
同七時二〇分（東）時事解說　年度の豫算に就て　經濟　牧野輝智
同八時（東）大衆演藝の夕
講談　義士の薪割　一龍齋貞丈
浪花節　寬永の劍聖　東家小樂燕
義太夫　卅三間堂棟由來　平太郎住家の段　淨瑠璃　竹本越駒　三味線　鶴澤紋教　ツレ　竹本駒照
落語　大出來大當り　三遊亭圓歌
漫才　非常時の春　浪速しかく　浪速まんまる
同九時三〇分（東）時報、ニュース外
引續き（城）朝鮮語ニュース
同一〇時（城）地方へのニュース
同一〇時三五分（東）英語ニュース
同一〇時四五分（東）支那語ニュース
同一〇時二〇分（東・大）歌謠曲
（東京）「一」上海だより外四題　上原敏　靑葉笙子　合唱　日本ポリドール合唱團
「二」その火絕やすな外五題　能勢妙子　灰田勝彦
同一〇時五〇分（大阪）
（一）慰問袋・外一題　伴奏　タイヘイニットー管絃樂團　高千穗武夫
（二）征途の祈り・外一題　南はるみ
（三）萬歲行進曲　高千穗武夫　南はるみ
（一）愛の航空兵・外一題　米千代　伴奏　テイチク管絃樂團
（二）俺も男だ・外二題　木村肇
同一一時二〇分（東京）
「一」勝利のつばさ・外四題　三門順子　樋口靜雄　合唱　キング合唱團
「二」春の凱旋・外四題　二葉あき子　中野忠晴　合唱　コロンビア合唱團
同一一時五〇分（東）輕音樂〃螢の光〃　東京放送管絃樂團
同一一時五八分（各局）除夜の鐘（東京）―上野寬永寺より（名古屋）―高山市大谷派別院より（京都）―鹿ヶ谷の靈鑑寺―京都鹿ヶ谷より（廣島）―縣護國古義眞言宗大聖院より（岡山）―棲林寺の鐘―久留米筑後河畔より（仙臺）中尊寺の鐘―岩手縣平泉中尊寺境内より（札幌）―札幌市大谷派本願寺札幌別院より（京城）開城府大門の鐘―開城府大門通より（臺北）劍潭寺の鐘―臺北市圓山劍潭寺より（滿洲）ハルビン中央寺院より

第二放送

午後零時五分　獨唱　崔昌殷
同六時　歲末放話リレー（二）　金寧仁
同六時二五分　趣味講演　嚴鼎燮
同七時二五分　ラヂオ圖畫　沈友燮
同八時五分　管絃樂　DK管絃團
同八時三〇分　俗曲　李日淳
同八時四五分　ラヂオヴァラエテイ
同一一時　歌謠曲
同一一時二〇分　レコード音樂（京城）同（平壤）
同一一時五八分（各局）除夜の鐘

あすのきもの　元日

◎四方拜
午前一時（城）非常時初詣風景　―朝鮮神宮境内より中繼―
同五時三〇分（東）鶴鳴（東天紅）
同五時五〇分（名）歡迎風景　神苑朝―宇治山田市伊勢皇大神宮神苑より中繼―
同七時一分（東）吹奏樂　陸軍戶山學校軍樂隊
同七時二〇分（城）挨拶　朝鮮放送協會長　土師盛貞
同九時（城）歲旦祭實況―朝鮮神宮拜殿前より中繼―
同一〇時二〇分（東）謠曲　神苑朝　觀世左近外
午後一時（名）萬歲　北川幸太郎外
同一時二〇分（東）新日本音樂　宮城道雄外
同一時四五分（東）戰勝太神樂
同二時一〇分（大・名・東）新春風景
同二時五〇分（東）戰勝の春　大日本帝國萬歲
同六時（東）連續講談
同六時三〇分（城）講演　年頭所感　朝鮮總督・陸軍大將　南次郎
同七時三〇分（朝）詩吟　大槻博之
同七時四〇分（東）長唄〃操り三番叟〃　松永和風外
同八時五分（東）舞踊劇「鏡引」　松本幸四郎外
同八時五〇分（東）管絃樂

京日特選棋譜（15）

五段　小澤了正
先三段　櫻田雪雄

百六十四まで　白中押勝

惡果は奈邊？

覆面道人

二子安定の道

さて總評――先づ右側の黑九は左上隅白二の頭上が好ましい定石。また下邊の黑十五の場合は白六のすぐ左が、或は左側の白五十二の所がよく、何れも黑十三と黑五の二子を治める定石であつた。

二十五に敗兆

更に、左上隅黑七を強化の黑二十五は左側にも好く、また上面白九十二の所への打込みも目指す好手だ。が、黑二十五が白五十二の眞下だと、下邊に白二十六と押し出したその白の戰鬪手段をも殺し、以下白四十二に至る黑の惡果をも避け得たであらう。で、黑二十五は實に敗兆の一手と云ひ得る。

六十九亦失着

處で黑七十一は七十七も目指し、右側の黑地を幾層にも厚くした好手であるが、惜むらくは黑六十九白七十の交換があつて、七十の所に切りを失つた。それがなければ、前失を取戾す黑の好展開があつた。

そして右上隅の黑七十九が、上面に八十九と變化すれば黑敗にはならない。また右側の黑八十三が八十九でも黑は敗けなかつた。然るに白八十八となつては、最早黑絕望と云つて過言でない。軍國の好棋戰茲に終局を告げ、新春の棋戰勇躍は迫る！

一流棋士爭霸戰譜

香落　△六段　山北孫三郎
▲五段　大和久彪

觀戰記

六段　飯塚勘一郎

第八局

（圖は前回△四八と迄の局面）

▲四八金5　△同飛成　▲四三と　△四九馬13　▲七七銀左　△三一金引2　▲五九銀打12　△六七金　▲八八玉　△五九馬2

△山北氏　持駒　ナシ

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	v香			v金			v飛		
二		v王	v銀		v金		と		
三		v歩	v歩	v歩	v歩	v銀	と		
四	v歩				v馬			v歩	
五						v歩		v桂	v歩
六	歩		歩	歩					
七		歩			歩	歩		v龍	
八		銀	玉	銀	金	vと		v桂	
九	香			金				v桂	

▲大和久氏　持駒　角歩

（持時間各九時間）　累計　山北氏4時間4分　大和久氏4時間25分

山北氏猛烈に逆襲
朔風寒き下手の陣營

大和久氏は敵の四八と金を同金と斷つて捨て、四三とで敵玉最後の關門に迫つたが、何分敵の玉香に近い上、自玉が薄くなつてゐるので、背後に大きな危險が迫つてゐる。これで若し下手方の玉に寄り筋があれば、下手方の敗色は最早や決定的となるが、山北氏は敵の四三とに構はず四九馬と追詰きびしく肉薄した

下手方此の勝手に七七銀を七七玉では、五七香成とされ、次ぎの八五金打で、必死となるから、下手は五二と、敵玉を詰める餘裕がない。してみると此際七七銀は仕方のない應接で、これに對し上手方が一旦五一金引と自重したのは、此場合敵玉に必死の順がない限り、五二とゝ侵略されては、非常な危險となるし、茲を四三金とと金を拂つては、六二銀と打たれて危險となる

上手の五一金引に下手が五九銀打と指したは、手堅く見えてその間に却つて危險を招いた。むしろ八八玉と早逃げするのが正着で、勝敗に拘はらず一先づ樣子を見る處であつたらう

山北氏が六七金と追及し、八八玉とさせて、五九馬と切つたのは、下手方に同金と取らせ、七九銀の打込みを狙つてゐるのみならず、恐らくこれで寄り筋を讀み極めてあるであらう

まことに下手の玉香薄くして、朔風一入寒しの觀がある

ラヂオ

講談　義士の薪割

一龍齋貞丈

赤穗の浪士で元助方をしてゐた三村治郎右衞門包秀は、元祿十五年江戶へ下り、吉良家の樣子を探る旁々薪割屋に身をやつしてゐた、そのうちに本所松坂町にすむ竹屋喜兵治といふ名代の研ぎ屋と懇意になつたが三村はあくまで薪割屋の次郎兵衞といふことにしてあつた

或日喜兵治にたのまれて、三村は看板を書いてやつた、極月十四日のこと赤穗の浪士が吉良邸へ討入つたとのことを聞き竹屋喜兵治は、どんな樣子かと見に行くと回向院からひきあげてくる義士の一行に會つた、ところが驚いたことには薪割屋の次郎兵衞が居るのを發見して始めて次郎兵衞が赤穗の浪士であることを知り、喜兵治は淚をながして喜んだ

三村は形見に助眞の一刀を喜兵治に與へた三村が書いた看板は寶物になつたといふ義士薪割りの一席

浪花節　寬永の劍聖

東家小樂燕

三代將軍家光公へお手をとつての指南役劍一本にて一萬石の名家柳生但馬守の三男又十郎身をもちくづして勘當、日光二荒山に隱遁する、天下の劍聖と謳はれた但馬守も勘當につき居捨て七年まる六年劍道修業をなし江戶へかへり駿河臺の大久保彥左衞門の計らひにて父但馬守と立合ひ七年間艱難辛苦、會得なせし劍道の極意妙技をあらはして勘當の詫びが許され、七年目に親子對面の一席

寫眞　（上）上野寬永寺（左上）開城市大門の鐘（同下）平泉中尊寺（右）台北圓山劍潭寺

家庭講座　お正月臺所の洗ひ物について

田中ちた子

どちらの御家庭でもお正月は、いろ〳〵御馳走をつくり、又お客樣のおもてなしをなさいますが、本日は、お正月に使ひます臺所用品の瀨戶物や塗物などの洗ひ方やしまひ方等についてお話申上ます

落語　大出來・大當り

三遊亭圓歌

世話した土地が賣れて、大晦日に思ひがけない金が千五百圓入つたので、有頂天になつて家へ歸り、女房にその話をすると女房びつくりして目を廻し、水を飲む騷ぎ、何はともあれ借金だけはと云ふわけで、差當つて舊の御主人の所へ行く

所が先方へつくと、どうもお店の樣子が變なので、事情をきけば、店をたゝむより外ないとか、そして色々話を聞けば千五百圓あればどうにかなるとの話に懷ろの千五百圓全部出し、そのかたとして債券六枚を貰つて來る

家へ歸ると大變な夫婦喧嘩となるが、その夜はあけて元日となる、所へ舊の御主人が大慌てゞ飛び込んで來、今朝新聞の籤表を見ると昨日の債券が一等當つてゐると云ふ話に、この男夢ではないかと今度は自分が水をくれと女房に云ふ始末、いい時にはいい事のあるもので、そこへ前にお金を拾つて警察へ屆けておいたお金の落し主があらはれ、ほんのおしるしだと云つて千八百圓の大金を持つて來る